

Publisher's Review

パブリッシャーズ・レビュー

●東京大学出版会・白水社・みすず書房のPR紙●



みすず書房の本棚

[無料送付]

No.9 2013冬

(表示価格は消費税込です)

113-0033 東京都文京区本郷 5-32-21 tel. 03-3814-0131 http://www.msz.co.jp

現在形としての「ノモンハン」

鎌倉英也

その「国境」は見ておきたいと思つた。そこはモンゴル国と中華人民共和国の国境、かつてはモンゴル人民共和国と満洲国の国境だった場所。一九三九年、日本軍・満洲国軍とソ連軍・モンゴル軍が、国境線をめぐり、それぞれ「集団的自衛」を掲げて相手を「膺懲(ようちよう)しよう」すべく、激戦をくり広げた地域である。日本の歴史書の多くは、その戦いを「ノモンハン事件」と記す。一九九九年夏、私たちがNHKの撮影クルーは、六〇年目を迎えた「ノモンハン事件」取材のため、国境に近いモンゴルの大草原にいた。モンゴルの国境警備隊長は、私たちがウランバートルから調達した大型ヘリに自分も同乗する条件で、空から国境に接近することを承諾した。上空にさしかかると、国境緩衝地帯を示すフェンスが見えてくる。それに沿つ

て飛ぶと、フェンスは所々数キロ口をわたって途切れたり現われたりする。この草と土と砂しかない大地を区切る境界は、いわば、実線ではなく、破線としてそこにあった。「なんという荒野原だ。こんな土地に五ドルだって払うつもりはないね」。『ノモンハン事件』の研究で知られるアルヴィン・D・クックスは、この戦場を見た外国人特派員がつぶやいたという言葉を大著『ノモンハン』に書き留めている。どうしてこのような、国境などという概念とは無縁の、移動が日常であった遊牧民の生活の地に血を流した紛争が起きたのか。どのような外交的軍事的な背景があったのか。この戦いは何をもたらしたのか。取材当時、ソ連崩壊により、それまで厳重に秘匿されてきたソ連側軍事史料が徐々に公開され始めていたこと

は、それらの問いに迫る鍵のひとつとなった。私はロシア軍事史公文書館に連日通い、閲覧許可された極秘文書にあたつた。「あなた方とは別に、アメリカの研究者もこの新公開文書を大規模に調査し始めていますよ」。山のような史料に埋もれていた私を見て、笑いながらロシア人学芸員が語りかけてきたことを思い出す。



ハルハ河西岸から東岸を見下ろす (2009年7月、『ノモンハン1939』より)

くれるものだった」と記している。一九六〇年代後半から長い歳月をかけて積み重ねられた彼の研究成果は、本書に結実した。ロシアに残る史料や日本語の学習を経て読み込まれた日本側文書などを精査した上で

バで勃発する戦争とのつながりを無視している」という彼の問題意識は、当時のヨーロッパ情勢、ことにドイツとソ連の外交戦略(「ノモンハン事件」のさなかに独ソ不可侵条約が締結されたことなど)と「ノモンハン事件」を有機的に関連させ、その意味を、「地球規模の影響」を与えた第二次世界大戦における各国の戦略的選択の方向性を決めた要因、原点ともいべき位置に据えている。

取材当時、私は日本で言い慣らされてきた「ノモンハン事件」という用語が、ロシアでまったく通じないことを知った。ロシアでは「ハルハ河戦争」と呼ばれ、歴とした戦争とされる。それは、ソ連軍だけで二万五千人を超える死傷者を生んだからだけではない。この戦争の渦中においても、ヨーロッパとアジアにまたがる大国のソ連は、ドイツ、日本との二正面作戦を回避するための高度な外交術を駆使していた。また、この戦争に至る準備の過程で、ソ連の最初の「衛星国家」とされたモンゴルでは「反ソ分子」とみなされた人々が、国民の約三〇人に一人の割合で粛清・殺害されていたことも記憶されなければならない。「ハルハ河戦争」は、戦場の裏側に隠された、底知れぬ闇を抱えた戦争でもあるのだ。一方、日本は、自国を破滅に導くことになる日米開戦の二年前に起きたこの戦いを「事件」と呼び、マクロ的合理的な視野から検証することを怠り続けた。その体質は、なお「事件」と呼び続けている現在も、日本の読者にとって過去のものではない。

ノモンハン事件とは一九三九年五月、ソ連と日本それぞれの傀儡国家・モンゴルと満洲国の国境で起きた日ソ軍事衝突である。四月月にわたる戦闘には一〇万人近くの人員、千もの戦車・航空機が投入され、死傷者は三十四万人。「事件」と呼ぶにはあまりに大規模で、実際これは近代(ナポレオン戦争)以降、大規模で発生した最初の限定戦争だった。結果はソ連の勝利に終わった。

この戦争については多くの本が書かれてきたが、日本軍がなぜかくも愚かな戦いをしたのかは未だに問われ続けており、失敗の本質に関する教訓の源泉としてもノモンハンは今形である。また近年の欧米では、欧州戦線中心の叙述を改め、極東の情勢が大戦史の然るべき場所に位置づけられつつある。本書はそうした

潮流の嚆矢でもある。その特徴をいくつか挙げよう。一八五三年の黒船来航とクリミア戦争から筆を起し、北方領土問題に触れて終わるといふ範囲の広さ。本戦争と、ヒトラーのポーランド侵

攻、真珠湾攻撃、モスクワ攻防戦での赤軍の勝利との関係を説明している点。第二次世界大戦前後の複雑な政情とノモンハン戦況を描きながら、分かりやすくコンパクトであること。そして、ノモンハンにおける限定戦争の意味を分析している点。近代の全面戦争であれば、勝敗を決めるのは主に武力(物力)だ。しかし「限定戦争とは本質的に、多くの非軍事的要素で成り立っている」。ノモンハンにおける勝敗を分けたのが、まさにこの点への理解であった。日本軍の致命的な判断ミスはなぜ生じたか。そもそもそれは「日本軍の判断」の問題なのか。本書は答えのヒントを数多きだしている。

モンゴル国境の取材から一五年の時が流れた。尖閣諸島・竹島・北方領土など「国境問題」をめぐる隣国との摩擦が、かつてない激しさを増している日本で、今、ゴールドマンの視点が邦訳されることには大きな意味がある。局地的な、限定的な国家間の問題としてではなく、それがグローバル・スケールで何を生み出してゆくのか熟考するための未来への窓がここにある。

客観的視点で語る 世界史のなかのノモンハン

スチュアート・D・ゴールドマン

《ノモンハン1939 第二次世界大戦の知られざる始点》

山岡由美訳 麻田雅文解説



ノモンハン地区の国境線

潮流の嚆矢でもある。その特徴をいくつか挙げよう。一八五三年の黒船来航とクリミア戦争から筆を起し、北方領土問題に触れて終わるといふ範囲の広さ。本戦争と、ヒトラーのポーランド侵

攻、真珠湾攻撃、モスクワ攻防戦での赤軍の勝利との関係を説明している点。第二次世界大戦前後の複雑な政情とノモンハン戦況を描きながら、分かりやすくコンパクトであること。そして、ノモンハンにおける限定戦争の意味を分析している点。近代の全面戦争であれば、勝敗を決めるのは主に武力(物力)だ。しかし「限定戦争とは本質的に、多くの非軍事的要素で成り立っている」。ノモンハンにおける勝敗を分けたのが、まさにこの点への理解であった。日本軍の致命的な判断ミスはなぜ生じたか。そもそもそれは「日本軍の判断」の問題なのか。本書は答えのヒントを数多きだしている。

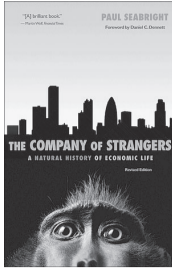
モンゴル国境の取材から一五年の時が流れた。尖閣諸島・竹島・北方領土など「国境問題」をめぐる隣国との摩擦が、かつてない激しさを増している日本で、今、ゴールドマンの視点が邦訳されることには大きな意味がある。局地的な、限定的な国家間の問題としてではなく、それがグローバル・スケールで何を生み出してゆくのか熟考するための未来への窓がここにある。

(四六判・344頁・三九九〇円)

【十二月下旬刊】

『日本現代史・第二次世界大戦史』

(かまくら・ひでや NHK制作局専任ディレクター)



デモクラシーは古代ギリシアに誕生したというの本当か？ デモクラシーの理念と制度は、いかにして今日の形になったのか？ デモクラシーの隆盛が高らかに宣せられるかたわら、世界中のデモクラシー国家の先行きに不安を感じる人びとが急激に増えているのは、なぜか？ 政党政治や議会制は機能しているか？ 議会外運動や世論動向は、デモクラシーとどう関わっているのか？ グローバルな経済体制・軍事体制は、デモクラシーにとってどんな意味を持つのか？

民主主義の危難に際して

ジョン・キーン 《デモクラシーの生と死 全2巻》 森本 醇訳



の盛衰を彩り鮮やかに描き出す。ギリシアに先立つデモクラシーの東方起源から、近代欧米における発展と、全面戦争と社会的独裁による壊滅のみならず、戦後インドや各地における奇跡的な成果や今世紀の新しい動きなど、数千年、世界各国に及んでいる。海外で高く評価される本書が、ようやく日本語で読めるようになった。シドニーから世界に発信する、恐るべき政治学者の、快著登場である。写真多数。「解説・猪口孝」詳細目次は小社ウェブサイト。『政治思想・世界史』(A5 ①512頁②496頁・各六八二五五円)

一万年の人類史を経済学で斬る

ポール・シーブライト 《殺人ザルはいかにして経済学に目覚めたか？》 ヒトの進化からみた経済学

部族でいがみ合っていた人類は、どのように協力し、繁栄を手にしたのか。「信頼」をキーワードに、一万年の人類史を経済学で斬る名著がついに邦訳。

「この文明も壊れることはあるだろうか？ もちろんある。そしてそうなら復旧はそれを頼りにすればいいだろうか？ この文明が崩壊したら新しいのを買い直すわけにはいかない。だからいま動いている文明をきちんと補修してやる必要がある。」

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

▽関連書 同じ訳者による、トニー・ジャットの著作を紹介。『死者と瓦礫の中から再生の道を歩み始めたヨーロッパ。EUの達成に至る歴史事象と政治分析を、雄渾な筆で描き切った『ヨーロッパ戦後史』(全2巻、各六三〇〇円)。かつてない格差社会で政治の機能が果たされぬままにどうなるのか？ 世論を鍛え直して政府の役割を再考すべく、稀代の歴史家が最後の力を振り絞って書いた『荒唐する世界のなかで』(二九四〇円)。

『三十人の大思想家に問い返す』 レシエック・コワコフスキ 藤田祐訳 問うてきたか 自然はわれわれを幸せにしてくれるのか？ いかにすれば何かを知ることが出来るのか？ なぜこの世界に悪は存在するのか？ われわれは見えるものを本当に信じられるのか？

『人生と運命』の作家の遺作 『ワシリー・グロスマン』 齋藤紘一 訳 亀山郁夫解説 自由を擁護する発言をしたために二九年間、ラーゲリ(強制収容所)の囚人だった男が、スターリンの死後に出所したのちの物語。

『人生と運命』はスターリングラード攻防戦を舞台に、物理学者一家をめぐる展開する歴史長編小説(全3巻)。権力のメカニズムと抗う人間の運命を描き、連戦時代に「最も危険な書」とされた。「これを読まずして、現代小説はおろか、現代世界のことも語れない」(毎日新聞)「描写は生彩に溢れ、何よりも人物たちが生きていく」(日経新聞)▽1 四五一五円「5刷」2・3 各四七二五円「4刷」

『五十一年の研究成果を集大成』 松尾尊光 大正デモクラシー期は戦後民主主義を歴史的・内省的に用いたが、現実には、米騒動治安維持法の成立、普選運動ほか、複雑で広範な潮流だった。著者は50年以上の研究成果から、単著に収録されている16論文を精選する。問題意識は相互に関連する二つ、①天皇および天皇制について、②それらに対決してきた日本共産主義と日本共産党について、である。

『政治と社会』 大正デモクラシー期は戦後民主主義を歴史的・内省的に用いたが、現実には、米騒動治安維持法の成立、普選運動ほか、複雑で広範な潮流だった。著者は50年以上の研究成果から、単著に収録されている16論文を精選する。問題意識は相互に関連する二つ、①天皇および天皇制について、②それらに対決してきた日本共産主義と日本共産党について、である。

『政治と社会』 大正デモクラシー期は戦後民主主義を歴史的・内省的に用いたが、現実には、米騒動治安維持法の成立、普選運動ほか、複雑で広範な潮流だった。著者は50年以上の研究成果から、単著に収録されている16論文を精選する。問題意識は相互に関連する二つ、①天皇および天皇制について、②それらに対決してきた日本共産主義と日本共産党について、である。

物語が生まれる場所

西尾哲夫 《ヴェニス商人の異人論》 人肉・ポンドと他者認識の民族学

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

シエイクスピアの戯曲で知られる借金返済不能の場合の人肉という条件。源流はシエイクスピア学者によって研究されている。しかし、この物語には、どれだけの普遍的な広がりがあるのだろうか？

みすず書房新刊

- 『1月』 『始まりの本』 『サリヴァン、アメリカの精神科医』 中井久夫「サリヴァンの精神療法論は、こうしてけいけいというものが強調されている。著者の論考を初めて集成。三二五〇円」 『マックス・ウェーバーの日本』 受容史の研究 1951-1995 シュウエントウ「なぜウェーバーは日本で読まれるか。受容の始まりから大塚、丸山現在まで。重版。野口雅弘他訳 七七八五円」 『生命起源論の科学哲学』 創発が、還元論的説明が マテリアル生命はどのように出現したのか。物理・化学的原理で説明可能になるのか。先端の研究から提示。佐藤直樹訳 五四六〇円」 『ロレンス遊歴』 井上義夫「精緻な作品分析によって、神話の解体から存在の闇を照射する。伝記を批判的に検証した第一級の作家・作品論。四四二〇円」 『葉蘭をめぐる冒険』 イギリス文化・文学論 川端康雄「ラスキン、モリスからオーウェルまで。作家と民衆文化の埋もれたつながりをあざやかに読み解く英国百年史。三七八〇円」 『クララ・シューマン』 友情の書簡 ヨハネス・ブラームス リツマン編「音楽への愛によって強く結ばれた44年にわたる友情の往還。全20通。幻の書。待望の新版。原田光子編訳 四七二五円」 『2月』 『善意で貧困はなくなるのか？』 貧乏の行動経済学 カリーンのパペル「人間心理の欠点を回避する手法を多数盛り込み、開発経済学の今をやさしく紹介。清川訳 澤田解説 三二五〇円」 『大人の本棚』 『遠ざかる景色』 野見山勝治「九十歳を超えてなお隆々たる画家エッセイが描く出会いと別れ。鮮やかによみがえる十九歳の肖像画。二九四〇円」 『大戦問期の宮中と政治家』 異業文庫 裕仁親王の結婚をめぐる「宮中某重大事件」はじめ、浜口雄幸、田中義一など人物群像が見る時代の真の姿。四二〇〇円」 『大人の本棚』 『本読みの軌道』 田中真澄「児童書再読から『日々』の種」古本行脚まで。映画・文化史家が縦横に綴った読書のけものみち。稲川方人解説 二九四〇円」 『日系ブラジル移民文学』 II 日本語の長い旅「評論」(全2巻) 細川周平「捨てきれぬ母国語を慈しむように綴られた日系移民100年の軌跡。長期取材の結果、全編書き下ろし完結。一五七五〇円」 『戦後史の中の英語と私』 鳥飼純美子「同時通訳者としての活躍。英語教育最前線での奮闘。通訳翻訳学樹立への情熱。挑戦の軌跡をたどった自伝。二九四〇円」 『孤獨な群衆』 (全2巻) リースマン「個人と社会、時代との関わりを論じた名著が改訂版で登場。新たなまえがき」他を付す。加藤泰後訳 各三三六〇円」 『大隈重信関係文書』 9、10 福沢諭吉書簡22通はじめ、前島密、牧野伸顯、益田孝、松方正義など18名・88通所収。早稲田大学文学部資料センター編 二二六〇〇円」 『合理的選択』 決りボア「ミクロ経済学、ゲーム理論、意思決定理論のエッセンスを平易に語る経済学からの贈り物。重版。松井彰彦訳 三三六〇円」 『漁業と震災』 濱田武士「経済一辺倒の社会に人の「なりわい」をとり戻す。漁業を再生し、自然集落食文化を守るための漁業経済学。三二五〇円」 『ソウル・マイニング』 音楽的 丹尼尔・ラノワ U2、ディランのプロデュサーが、演奏・録音の秘密と自身の音楽哲学を全公開。鈴木コウユウ訳 三九九〇円」 『正直シグナル』 非言語コミュニケーションの科学 ベントランド M.I.T.メディアラボの先覚的研究が切り拓く、人間の意思伝達とネットワークの未来。柴田訳 安西監訳 二七三〇円」 『ボスニア紛争報道』 メディアの表象と翻訳行為 坪井睦子「偏向報道の陥穽を翻訳の視点から浮彫りにした問題提起の書。国際報道における翻訳の不可視性と政治性に挑む。六八二五円」 『銀嶺に向かっ歌え』 クライマー小川登喜彦伝 深野修生「一ノ倉沢、屏風岩、冬の穂高や剣岳の初登攀者。帝大生のアルピニスト。昭和初年代の天才クライマーの肖像。二九四〇円」 『4月』 『気候変動を物理学する』 古気候学が変える地球環境 多田隆治「さまざまな時間スケールで気候変動を繰り返す動的な地球環境を描出し、来るべき環境危機の本質に迫る名講義。二五〇〇円」 『日本の2000年』 徳川時代から現代まで。新版(全2巻) ゴードン ロングセラーを大幅に改訂増補。アジンの視点を強化し、11巻まで21世紀を俯瞰。森谷文昭訳(全三七八〇円)三九九〇円」 『戦後史の中の英語と私』 鳥飼純美子「同時通訳者としての活躍。英語教育最前線での奮闘。通訳翻訳学樹立への情熱。挑戦の軌跡をたどった自伝。二九四〇円」

今年、完結のシリーズ

このシリーズは全巻完結いたしました
2013年にご紹介しました

最晩年を前にした思索

富原真弓編訳 〆シモーヌ・ヴェイユ選集Ⅲ
後期論集・霊性・文明論

〈知性の大小の差は、終身刑の囚徒にとつて独房が広い狭いかの差にすぎない。己の知性を誇る人間は広い独房を誇る囚徒に似ている。〉

シユトラウス、ヨナス、レヴィナス

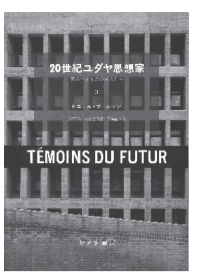
ピエール・ブレイツ 〆20世紀ユダヤ思想家
合田・渡名喜・三浦訳

ユダヤ教と現代思想のあいだの知的格闘を、思想家ひとりひとりを光源として描き出した全3巻の完結編。

「アカデミックな痕跡という

「ハンス・ヨナスは断固として、本質の手探りで探究を実行した。思想に世界の謎を託し、存在論的不安によって熱狂を退け、人間の行いに用心の命令を課す以上の手続きは、与えられたものの尊厳という原理を教える」

「レヴィナスにおいては、ユダヤの伝統と哲学とが調和



本紙6月の号でも紹介しましたように、ルネサンス以前から二十世紀までを描いた、ドイツの哲学者カッシーラーの記念碑的哲学史、全4巻・5冊の画期的訳業が完結しました。▽認識問題(一)(八四〇〇円) 2-1 (五七七五

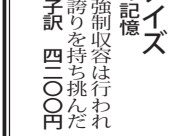
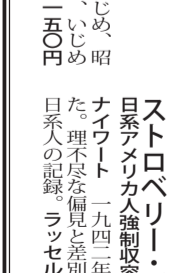
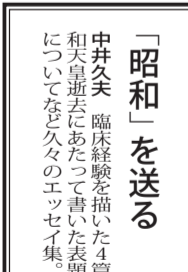
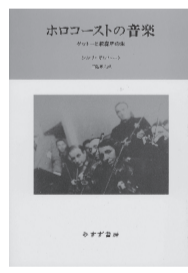
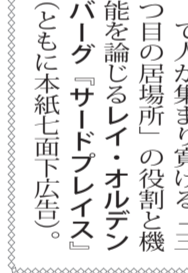
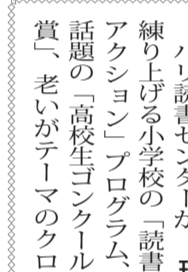
今年、受賞図書

ペーター・ツムトア 『建築を考へる』鈴木仁子訳

普及版・特装版のブック&エディトリアルデザインにより、葛西薫氏が東京TDC賞「特別賞」(ブックデザイン部



門、およびADC賞「原弘賞」両賞を受賞されました。特装版は、著者ツムトア氏にア



今年、来日された著者たち

講演会・音楽会
などレポ



や曾田文庫、「本の学校」で講演、奥出雲では町民と本を

「ロバート・イーグルストン(ロンドン大学教授)『ホロコーストとポストモダン』著者

「心理学的自動症」著者

「みすず書房新刊」

「アントネットラ・アンニヨリ(元サン・ジョヴァンニ図書館長、現ポロニーヤ市図書館協議会理事)『知の広場』著者

「小林典典作品集」著者

「屋根のある広場」著者

「ロバート・イーグルストン」著者

「心理学的自動症」著者

「みすず書房新刊」

「映像の歴史哲学」

「昭和三十九年」

「既刊I 初期論集・哲学修業II 中期論集・労働・革命」(各五〇〇円)

「既刊II ヴェイユの言葉」(大人の本棚) 富原真弓編訳(二七三〇〇円) J・カポー「シモーヌ・ヴェイユ最後の日々」山崎庸一郎訳(三三七〇円)

「記憶を和解のために」著者

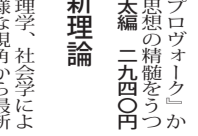
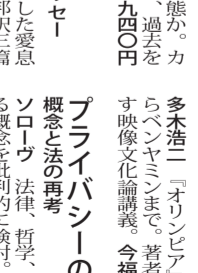
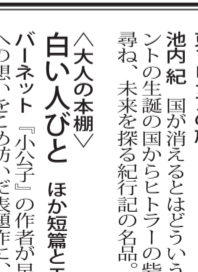
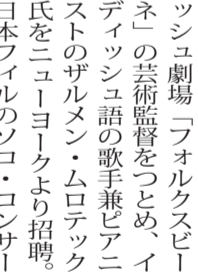
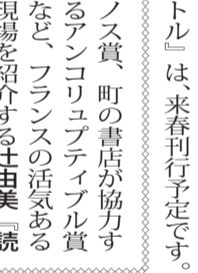
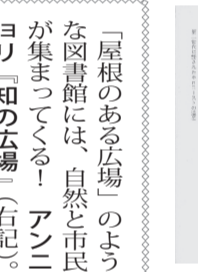
「近刊『シユテットル』

「関連 ホロコーストの音楽を聴く音楽会

「大人の本書」

「大人の本書」

「大人の本書」



「漁業と震災」著者

「小林典典作品集」著者

「屋根のある広場」著者

「ロバート・イーグルストン」著者

「心理学的自動症」著者

「みすず書房新刊」

「映像の歴史哲学」

「昭和三十九年」

「漁業と震災」著者

「小林典典作品集」著者

「屋根のある広場」著者

「ロバート・イーグルストン」著者

「心理学的自動症」著者

「みすず書房新刊」

「映像の歴史哲学」

「昭和三十九年」

「漁業と震災」著者

「小林典典作品集」著者

「屋根のある広場」著者

「ロバート・イーグルストン」著者

「心理学的自動症」著者

「みすず書房新刊」

「映像の歴史哲学」

「昭和三十九年」

みすず書房の オンデマンド版

オンデマンド版は、書籍の内容をデジタル・データで保存しておき、ご注文をいただいた時点で印刷・製本するシステムです。そのため日ごろ書店店頭などでなかなかお目にかかる機会がありません。小社のオンデマンド版書籍を、この紙面で一挙ご紹介いたします。

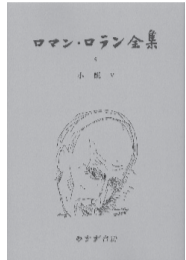
今年の新たな オンデマンド復刊

二〇一三年は、『北一輝著作集』の全巻、および『ロマン・ロラン全集』の中から短編小説「クレランボー」他、長篇小説「魅せられたる魂」を収める第5-8巻を、オンデマンド版として復刊しました。

『北一輝著作集』全3巻



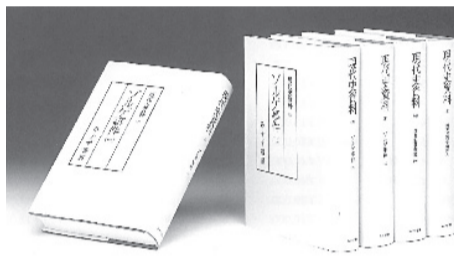
- 1 国体論及び純正社会主義 神島二郎解説(二六〇〇円)
- 2 支那革命外史・日本改造 二五〇〇円
- 3 論文・詩歌・書簡 関係資料 松本健一・高橋正衛・澤地久枝解説(一八九〇〇円)
- 4 『ロマン・ロラン全集』より 第5-8巻



現代史資料

全45巻・別巻1

- 1 ツルゲ事件1 小尾俊人編(二六〇〇円)
- 2 ツルゲ事件2 小尾俊人編(二六〇〇円)
- 3 ツルゲ事件3 小尾俊人編(二六〇〇円)
- 4 国家主義運動1 今井清一・高橋正衛編(二四七〇〇円)
- 5 国家主義運動2 高橋正衛編(一七八五〇円)
- 6 関東大震災と朝鮮人 姜徳相・琴秉洞編(二四七〇〇円)
- 7 満洲事変 小林龍夫・島田俊彦編(一三六五〇円)
- 8 日中戦争1 島田俊彦・稲葉正夫編(一六八〇〇円)
- 9 日中戦争2 白井勝美・稲葉正夫編(一六八〇〇円)
- 10 日中戦争3 角田順編(一五七五〇円)
- 11 続・満洲事変 小林龍夫・島田俊彦・稲葉正夫編(一八九〇〇円)
- 12 日中戦争4 小林龍夫・稲葉正夫・島田俊彦編(一三六五〇円)
- 13 日中戦争5 白井勝美編(二四七〇〇円)
- 14 社会主義運動1 山辺健太郎編(一七八五〇円)
- 15 社会主義運動2 山辺健太郎編(一八九〇〇円)
- 16 社会主義運動3 山辺健太郎編(一三六五〇円)
- 17 社会主義運動4 山辺健太郎編(一五七五〇円)
- 18 社会主義運動5 山辺健太郎編(二六〇〇円)
- 19 社会主義運動6 山辺健太郎編(一三六五〇円)
- 20 社会主義運動7 山辺健太郎編(一五五〇円)
- 21 台湾1 山辺健太郎編(二六〇〇円)
- 22 台湾2 山辺健太郎編(二六〇〇円)
- 23 国家主義運動3 高橋正衛編(一四七〇〇円)
- 24 ツルゲ事件4 石堂清倫編(一三六五〇円)
- 25 朝鮮1 姜徳相編(一三六五〇円)
- 26 朝鮮2 姜徳相編(一四七〇〇円)
- 27 朝鮮3 姜徳相編(一三六五〇円)
- 28 朝鮮4 姜徳相編(一五七五〇円)
- 29 朝鮮5 梶村秀樹・姜徳相編(一四七〇〇円)
- 30 朝鮮6 姜徳相編(一五七五〇円)
- 31 満鉄1 伊藤武雄・荻原極・藤井満洲男編(一五七五〇円)
- 32 満鉄2 伊藤武雄・荻原極・藤井満洲男編(一六八〇〇円)
- 33 満鉄3 伊藤武雄・荻原極・藤井満洲男編(一六八〇〇円)
- 34 太平洋戦争1 実松讓編(一六八〇〇円)
- 35 太平洋戦争2 実松讓編(一五五〇円)
- 36 太平洋戦争3 実松讓編(一五五〇円)
- 37 大本営 稲葉正夫編(一三六五〇円)
- 38 太平洋戦争4 白井勝美・稲葉正夫編(一三六五〇円)
- 39 太平洋戦争5 富永謙吾編(一六八〇〇円)
- 40 マス・メディア統制1 内川芳美編(一四七〇〇円)
- 41 マス・メディア統制2 内川芳美編(一三六五〇円)
- 42 思想統制 掛川トミ子編(二〇〇〇円)
- 43 国家総動員1 中村隆英・原朗編(一六八〇〇円)
- 44 国家総動員2 今井清一・伊藤隆編(一三六五〇円)
- 45 治安維持法 奥平康弘編(一三六五〇円)
- 別巻 索引 資料編集部編(一八九〇〇円)



思想家研究セレクション

全13冊

- 『ベルシユタイン』 亀嶋庸一(四八三〇円)
- 『自由と陶冶』 関口正司(七六六五円)
- 『ベンサムとコウルリッジ』 J.S.ミル F.R.リーヴィス序文 松本啓訳(五〇四〇円)
- 『評伝バーク』 中野好之(七一四〇円)
- 『イェリネック対ブトミー 人権宣言論争』 初宿正典編訳(四八三〇円)
- 『ウーバーとトレルチ』 柳父園近(五六七〇円)
- 『エリノア・マルクス』 都築忠七(七二四〇円)
- 『経済から社会へ』 松嶋敦茂(五八八〇円)
- 『東西リスト論争』 小林昇(四四二〇円)
- 『経済学者ラ・フォンテーヌ』 (四八三〇円)
- 『ボワソナード』 野田良之解説 久野桂二郎訳(二九四〇円)
- 『陸羯南』 小山文雄(五五六五円)

続・現代史資料

全12巻

- 1 社会主義沿革1 松尾尊兌編(一五七五〇円)
- 2 社会主義沿革2 松尾尊兌編(一六八〇〇円)
- 3 アナーキズム 小松隆二編(一三六五〇円)
- 4 陸軍 畑俊六日誌 伊藤隆・照沼康孝編(二二六〇〇円)
- 5 海軍 加藤寛治日記 伊藤隆編(一三六五〇円)
- 6 軍事警察 高橋正衛編(二四七〇〇円)
- 7 特高と思想検事 加藤敬事編(一五七五〇円)
- 8 教育1 佐藤秀夫編(二二五〇〇円)
- 9 教育2 佐藤秀夫編(二二五〇〇円)
- 10 教育3 佐藤秀夫編(二二五〇〇円)
- 11 占領地通商工作 多田井喜生編(一八九〇〇円)
- 12 阿片問題 岡田芳政・多田井喜生・高橋正衛編(一三六五〇円)

『陸羯南全集』

全10巻

- 1 「近時政論考」ほか 西田長寿・植手通有編(二七八五〇円)
- 2 「日本」社説 明治22年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 3 「日本」社説 明治23年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 4 「日本」社説 明治24年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 5 「日本」社説 明治25年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 6 「日本」社説 明治26年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 7 「日本」社説 明治27年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 8 「日本」社説 明治28年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 9 「日本」社説 明治29年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 10 「日本」社説 明治30年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 11 「日本」社説 明治31年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 12 「日本」社説 明治32年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 13 「日本」社説 明治33年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 14 「日本」社説 明治34年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 15 「日本」社説 明治35年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 16 「日本」社説 明治36年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 17 「日本」社説 明治37年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 18 「日本」社説 明治38年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 19 「日本」社説 明治39年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)
- 20 「日本」社説 明治40年 西田長寿・植手通有編(一六八〇〇円)

『内村鑑三とラアトブルフ』

野田良之(五六七〇円)

『新渡戸稲造』

松隈俊子(六〇九〇円)



『宇垣一成日記』

全3巻

- 1 明治35年9月-昭和6年6月 角田順校訂(二二〇〇円)
- 2 昭和6年6月-昭和14年2月 角田順校訂(一五七五〇円)
- 3 昭和14年3月-昭和24年7月 角田順校訂(一五七五〇円)

みすずプリント

全20巻

- 1 福澤先生哀悼録 慶應義塾編(九九七五円)
- 2 副島種臣伯 丸山幹治(九四五〇円)
- 3 獨立評論1 主筆・山路愛山(一五七五〇円)
- 4 獨立評論2 主筆・山路愛山(一四七〇〇円)
- 5 獨立評論3 主筆・山路愛山(一四七〇〇円)
- 6 獨立評論4 主筆・山路愛山(一三六五〇円)
- 7 獨立評論5 主筆・山路愛山(一六八〇〇円)
- 8 獨立評論6 主筆・山路愛山(九九七五円)
- 9 獨立評論7 主筆・山路愛山(九九七五円)
- 10 馬場辰猪 安永梧郎(七三五〇円)
- 11 福澤論吉 田中王堂(七七八五円)
- 12 古い政治の新しい鏡方 吉野作造(九九七五円)
- 13 現代政治講話 吉野作造(二六〇〇円)
- 14 日本無産政党論 吉野作造(八九一五円)
- 15 現代憲政の運用 吉野作造(二一五五〇円)

『大戦間期の日本陸軍』

黒沢文貴(九九七五円)

『昭和憲兵史』

大谷敬二郎(一三六五〇円)

- 1 ジェームズ・ボズウェル 中野好之訳(二二六〇〇円)
- 2 ジェームズ・ボズウェル 『サムエル・ジョンソン伝』 中野好之訳(一〇五〇〇円)
- 3 ジェームズ・ボズウェル 『サムエル・ジョンソン伝』 中野好之訳(一〇五〇〇円)
- 『パリ随想』 湯浅年子(四九〇〇円)
- 『パリ随想』 湯浅年子(四九〇〇円)
- 『パリ随想』 湯浅年子(四九〇〇円)

オンデマンド版について

オンデマンド版とは、

- 書籍の内容をデジタル・データで保存し、注文をいただいた時点で印刷・製本するシステムです。内容はオリジナル本と変わりはありませんが、装丁、外見などが異なります。
- ご注文の際には、以下の点にご注意下さい。

1. 注文による製作ですので、お届けするまでに2週間ほどかかります。日数をご考慮のうえお申し込み下さい。
2. キャンセル・返品はお受けできません。あらかじめご確認下さい。

書評にとりあげられた本 2013年1-12月

本紙8面の記事中でも一部をご紹介しますが、首都圏の新聞を中心に、今年、書評にとりあげられた小社刊行のおもな書籍を一覧にいたしました。

- ガイバ『ニュルンベルク裁判の通訳』 鳥飼玖美子氏(日本経済新聞12月1日)同(北海道新聞12月1日)
スコット『ソミア』 柄谷行人氏(朝日新聞11月24日)
小泉恭子『メモリスケープ』 岡田温司氏(読売新聞11月24日)栗原裕一郎氏(日本経済新聞11月17日)
ゴードン『ミシンと日本の近代』 加藤陽子氏(毎日新聞10月27日)柏木博氏(日本経済新聞9月8日)平松洋子氏(読売新聞9月1日)渡辺靖氏(朝日新聞8月18日)
大田静男『夕風の島』 田中優子氏(朝日新聞10月13日)上江洲儀正氏(沖縄タイムス10月12日)砂川哲雄氏(八重山毎日新聞10月6日)
フェリス『スターゲイザー』 土田映子氏(北海道新聞9月29日)
ウォルドパウアー『食べられないために』 海部宣男氏(毎日新聞9月22日)
カッチャー『死後に生きる者たち』 佐々木敦氏(朝日新聞9月15日)
ガワンデ『医師は最善を尽くしているか』 中村桂子氏(毎日新聞9月8日)
多木浩二『映像の歴史哲学』 京都新聞(9月8日)吉成秀夫氏(北海道新聞9月1日)吉見俊哉氏(日本経済新聞8月4日)
鳥飼玖美子『戦後史の中の英語と私』 毎日新聞(9月8日)管啓次郎氏(読売新聞6月16日)「あとがきのあと」日本経済新聞(5月5日)「訪問」北海道新聞(5月5日)
ペパン『エイズの起源』 信濃毎日新聞(9月1日)小林照幸氏(日本経済新聞8月11日)
若江漢字/酒井忠康『ヨーゼフ・ボイスの足型』 浅沼敬子氏(北海道新聞8月29日)
ナイワート『ストロベリー・デイズ』 石川好氏(信濃毎日新聞・沖縄タイムス8月25日他)読売新聞(7月21日)渡辺隆次『山里に描き暮らす』 日本経済新聞(8月25日)
長田弘『奇跡—ミラクル—』 松山巖氏(読売新聞8月11日)
ネイラー『アーツ・アンド・クラフツ運動』 高島直之氏(東京新聞8月11日)
中井久夫『昭和』を送る』 鷲田清一氏(朝日新聞8月4日)斎藤環氏(「半歩遅れの読書術」日本経済新聞7月14日)池澤夏樹氏(毎日新聞6月9日)
マグダ・オランダール=ラフォン『四つの小さなパン切れ』 赤坂真理氏(朝日新聞7月21日)石田千氏(読売新聞6月23日)
バーネット『白い人びと』 小野正嗣氏(朝日新聞7月14日)尾崎真理子氏(読売新聞6月30日)
榎木伸明『アイルランドモノ語り』 「訪問」北海道新聞(7月7日)
宮田昇『図書館に通う』 「著者に会いたい」朝日新聞(6月30日)小田光雄氏(東京新聞6月30日)井波律子氏(毎日新聞6月16日)
田中真澄『本読みの獣道』 若島正氏(毎日新聞6月16日)
濱田武士『漁業と震災』 開沼博氏(読売新聞6月2日)川島秀一氏(東京5月12日)上野敏彦氏(神奈川新聞5月5日・沖縄タイムス5月5日他)豊野稔人氏(朝日新聞4月7日)
ペントランド『正直シグナル』 保坂正康氏(朝日新聞5月26日)
ラノワ『ソウル・マイニング』 管啓次郎氏(「この3冊」毎日新聞5月26日)佐々木敦氏(朝日新聞5月19日)
細川周平『日系ブラジル移民文学』[全2巻] 読売新聞(5月20日)
深野稔生『銀嶺に向かって歌え』 角幡唯介氏(朝日新聞5月12日)河北新報(5月6日)
ギルボア『合理的選択』 児島寛之氏(日本経済新聞4月28日)
カーラン/アベル『善意で貧困はなくせるのか?』 大竹文雄氏(毎日新聞4月21日)日本経済新聞(3月24日)
ザヴォドニー『消えた将校たち』中野五郎・朝倉和子訳 根岸隆夫解説 ¥3570 東京新聞(3月24日)
黒沢文貴『大戦期期の宮中と政治家』 信濃毎日新聞(3月17日)
シュヴェントカー『マックス・ウェーバーの日本』 本村凌二氏(毎日新聞3月10日)柄谷行人氏(朝日新聞2月24日)
『サイード音楽評論』二木麻里訳[全2巻] 各¥3360 東京新聞(3月3日)徐京植氏(北海道新聞2月10日)
田中純『冥府の建築家』 ¥5250 持田叙子氏(毎日新聞2月24日)谷川渥氏(日本経済新聞2月11日)
堀江敏幸『余りの風』 ¥2730 管啓次郎氏(読売新聞2月24日)
フランク『夜と霧』[新版] 池田香代子訳 ¥1575 為末大氏(「読書日記」日本経済新聞2月20日夕刊)
ミラノウィッチ『不平等について』村上彰訳 ¥3150 藤原裕之氏(日本経済新聞1月27日)
藤山直樹『落語の国の精神分析』 ¥2730 田中優子氏(朝日新聞1月13日)松山巖氏(読売新聞1月6日)
佐々木幹郎『瓦礫の下から唄が聴こえる』 ¥2730 高山重篤氏(読売新聞1月13日)川本三郎氏(毎日新聞1月6日)
ジャン・ジュネ『判決』宇野邦一訳 ¥3990 小倉孝誠氏(北海道新聞1月13日)
スコット『ヴェールの政治学』李孝徳訳 ¥3675 高橋和夫氏(日本経済新聞1月6日)
(今年の新聞は、本紙2-4・7面下広告に価格など詳しくご案内しています)

- 哲学・思想
『波止場日記』エリック・ホフファー 田中淳訳(二九四〇円)
『シーニュ』1 モーリス・メルロー・ポンティ 竹内芳郎監訳(五九八五円)
『シーニュ』2 モーリス・メルロー・ポンティ 竹内芳郎監訳(六八二五円)
『G・スタイナー自伝』エ藤政司訳(三一五〇円)
『モンテニョとメランコリー』M・A・スクリーチ 荒木昭太郎訳(四五一五円)
『ふさがれた道』スチュアート・ヒューズ 荒川幾男・生松敏三訳(四五一五円)
『ふたつのナショナルリズム』有田英也(六八二五円)
『丸山眞男の思想世界』笹倉秀夫(六五一〇円)
『星之火』永山正昭 平岡茂樹・飯田朋子編(二九四〇円)
『戦後日本の「市民社会」』杉山光信(二八三五円)
『ロラン・バルト 喪の日』 記石川美子訳(三四六五円)
『春秋研究』狩野直喜(九四〇円)
『支那小説戯曲史』狩野直喜(七三五〇円)
『戦時下抵抗の研究』1 同志社大学人文科学研究編(五二五〇円)
『戦時下抵抗の研究』2 同志社大学人文科学研究編(六八二五円)
『熊本バンド研究』同志社大学人文科学研究編(二〇五〇円)
『生きつづける』へみすずライブラリー ルート・クリューガー 鈴木仁子訳(二八三五円)
『手のことば』へみすずライブラリー ハナ・グリーン 佐伯わか子・笠原嘉訳(二四一五円)
『社会・医学・環境問題』信濃毎日新聞社編(二八九〇円)
『北アルプス トイレ事情』信濃毎日新聞社編(二八九〇円)
『歴史』
『古代ローマ生活事典』K W・ウェーバー 小竹澄栄訳(二一〇〇円)
『拒絶された原爆展』マーティン・ハーウィット 山岡清 監訳(三九九〇円)
『アイゼンハワー回顧録』[全2巻セット] 仲晃・佐々木謙一・渡辺靖訳(三二五〇円)
『国防軍とヒトラー』I J・ウィラー・ベネット 山口定訳(五六七〇円)
『国防軍とヒトラー』II J・ウィラー・ベネット 山口定訳(五八八〇円)
『華人の歴史』リン・パン 片柳和子訳(四七二五円)
『毛沢東伝』上 金沖及主編 村田忠禧・黄幸監訳(八四〇〇円)
『毛沢東伝』下 金沖及主編 村田忠禧・黄幸監訳(九四五〇円)
『周仏海日記』蔡徳金編 村田忠禧訳(一五七五〇円)
『近代中国通貨統一史』岩武照彦(一〇五〇〇円)
『ネルと子供たちにキスを』 E・ウィレム・リンダイヤ 村岡崇光監訳(二八九〇円)
『津田真道』大久保利謙編(九七六五円)
『米国防海軍 軍政/民事 マニユアル』竹前栄治・尾崎毅訳(三六七五円)
『世界文学の文献学』E・アウエルバツハ 高木昌史・岡部仁・松田治訳(二二五五〇円)
『ダンテとヨーロッパ中世』R・ボルヒャルト 小竹澄栄訳(五〇四〇円)
『つむじ風』M・フリユッゲ 和泉勇訳(六三〇〇円)
『カフカ、映画に行く』ハンス・ツイシュラー 瀬川裕司訳(二六二五円)
『白楽天』A・ウェーリ 花房英樹訳(三九九〇円)
『ウィルソン氏の驚異の陳列室』L・ウェシュラー 大村田丈二訳(三三六〇円)
『円環の破壊』M・H・ニコルソン 小黒和子訳(三九〇円)
『バーデンハイム1939』A・アッペルフェルト 村岡崇光訳(三三二〇円)
『ハムレットの母親』C・G・ハイルブラン 大社淑子訳(五〇四〇円)
『ヴァネッサ・ベル』F・スポルディング 宮田恭子訳(八四〇〇円)
『小さな町』(大人の本棚) 小山清 堀江敏幸解説(二七二五円)
『ロジャー・フライ伝』ヴァージニア・ウルフ 宮田恭子訳(四二〇〇円)
『飯島耕一・詩と散文』1 (三六七五円)
『飯島耕一・詩と散文』2 (三六七五円)
『飯島耕一・詩と散文』3 (三六七五円)
『飯島耕一・詩と散文』4 (三六七五円)
『飯島耕一・詩と散文』5 (三六七五円)
『死者のいる中世』小池寿子(三一五〇円)
『アルルのファン・ゴッホ』R・ピックヴァンス 二見史郎訳(九四五〇円)
『ファン・ゴッホとミレー』L・ファン・ティルボルフ編 二見史郎・辻井忠男訳(二二六〇〇円)
『ゴーギャン オヴィリ』ダニエル・ゲラン編 岡谷公二訳(六八二五円)
『約束の大地/アメリカ』新正卓(六〇九〇円)
『天空の立山』森下恭(四二〇〇円)
『季節風』島尾伸三(二九四〇円)
『フェッルツチヨ・ブゾーニ』長木誠司(五五六五円)
自然科学
『ヒトの変異』A・M・ルロウ 上野直人監修 築地誠子訳(三三六〇円)
『ビルトダウン』F・スペンサー 山口敏訳(七五六〇円)

在庫僅少本ご注文書

直送をご希望の場合には、本紙挟み込みのハガキ、または本紙面でご注文を承ります。紙面をご利用のさいには、上掲の僅少本リストの書名の始めに付された四角(□)に印をつけていただき、下欄に必要事項をご記入のうえ、郵送もしくはファクシミリにて、みすず書房営業部までお送り下さい。代金は宅配時に引き替えとなります。1回につき送料210円が加算されます。

ご注文冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円 送料210円

お名前 _____

ご住所(〒 _____) _____

お電話 _____

みすず書房
〒113-0033 東京都文京区本郷5-32-21
fax 03-3818-6435

ご注文にさいしては、以下の点にどうぞ留意下さい。
一 ご注文は本紙挟み込みのハガキ、または本紙面に直接 印をつけて(左欄参照)みすず書房営業部までお送り下さい。
一 書籍によっては残部僅少のため品切になる場合がございます。ぜひともお早めにご注文いただきますとともに、品切の場合はご容赦下さい。
一 書店への注文、もしくはネット書店などでの在庫検索をなさいますと、品切と表示される場合がございます。あらかじめご了承願います。

書評コラム

空を見上げて星を見ずにはいられない人たちがいる。「スターゲイザー」は、星を見ることを楽しむ人たちが描いたルポルタージュである。著者自身もスターゲイザー、すなわち「星を見つめる人たち」の一人だ。彼は本文中で、取材相手をフリストネームで呼んでいる。親しみ、敬意、仲間としての共感がテキスト全体から感じられる。

土星の白斑を発見した天文家は「ほんのちよつとレンズに助けをもらえば、裏庭でもすごいことができると語る。天文学は昔からアマチュアがプロの科学に貢献できる分野の一つだ。CCDカメラやインターネットによって

アマチュアの力も増している。超新星や小惑星の発見、太陽系外の惑星探し等においては、経験豊富なアマチュアの役割は決して小さくない。プロの研究者たちもそれは分かっている。アマチュアの天文家に各種データへのアクセスが提供されているばかりか、観測機器を使う機会も与えられている。あのハッブル宇宙望遠鏡を使って木星の衛星を観測できたアマチュアもいるのだ。

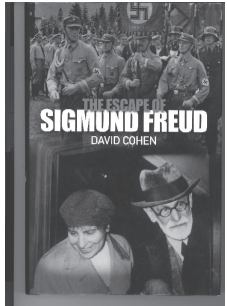


(DVD付)

森山和道
ティモシー・フェリス
《スターゲイザー》
桃井緑美子訳
渡部潤一監修
を読む

幕間として挿入されるインタビューには天文家たちが混じってクインのブライアン・メイのような有名人も登場する。彼は音楽も夜空も同じだという。巻末には観測の手引きや

この「アマチュアプログラム」の意義について、責任者はこのように語っている。「科学というものは、みなで共有して文化の一部にしなければまったく無意味ではない。プロの研究者たちも送られたドキュメンタリーが日本語字幕付きで収録されている。映像でスターゲイザーたちへのインタビューや、望遠鏡を自作している人たちの集まり、インターネットを使った自動観測の様子が収録されている。夜空に瞬く星々を静かに眺めているときのように、静謐な、だが幸せな空気が感じられる本である。(もりやま・かずみち サイエンスライター) 『スターゲイザー』アマチュア天体観測家が拓く宇宙(本紙三面に広戸)



デヴィッド・コーエン 《フロイトの脱出》

高砂美樹訳 妙木浩之解説

亡命の顛末 最晩年の謎に迫る

デヴィッド・コーエン 《フロイトの脱出》 高砂美樹訳 妙木浩之解説

本書は戦後ザウアーヴァルトが法廷で裁かれるシーンから始められるが、フロイトのアルトである。本書は戦後ザウアーヴァルトが法廷で裁かれるシーンから始められるが、フロイトのアルトである。本書は戦後ザウアーヴァルトが法廷で裁かれるシーンから始められるが、フロイトのアルトである。

今夏七月、作家高橋たか子のは、たか子三九歳で死別した夫高橋和巳との特別な愛。戦後日本を生きた知的女性の飾らぬ老いの記録である。装幀・菊地信義。「日本文学・日記文学」(十二月二十日刊) (四六判・296頁・二九四〇円)

「富岡悦子」(八月号) H・F・エツェランと石原吉郎(一九二〇―七〇)と石原吉郎(一九一五―七七)。ともに大戦と収容所をめぐり抜け、二〇世紀というジェノサイドの時代にあって、語りえない出来事を語る証言者としての使命を

「読書アンケート特集」と「みすず」次号は、「読書アンケート特集」掲載の1・2月号合併号です(二月一日発行)。本誌は原則として郵送による年間購読をお願いしていますが(一年間の購読料三七八〇円、税・送料込)、「読書アンケート」特集号のみご希望の方は、切手三五五五分(送料込)を直接、みすず書房営業部までお送り下さい。発行次第で送付いたします。(四六判264頁・予三七八〇円)

「みすず」次号は、「読書アンケート特集」掲載の1・2月号合併号です(二月一日発行)。本誌は原則として郵送による年間購読をお願いしていますが(一年間の購読料三七八〇円、税・送料込)、「読書アンケート」特集号のみご希望の方は、切手三五五五分(送料込)を直接、みすず書房営業部までお送り下さい。発行次第で送付いたします。(四六判264頁・予三七八〇円)

独り居の晩年、孤独の思索

高橋たか子 《終りの日々》 鈴木晶解題

月刊雑誌 《みすず》 最近号より

ランベルジェ「ピエール・ジャンネと彼のアメリカ人の友人たち」(名和太郎)「ダニエル・ソローヴ」(ライバシー)「地域研究のアイデア」(関口裕昭)「ゼル・ツェラン」(トランジュの銅版画の世界)「黒田晴之」(ホロコーストの音楽)を聴くという体験(山本太郎)「夏の空と僻村の往診」(十月号) H・F・エツェランと石原吉郎(一九二〇―七〇)と石原吉郎(一九一五―七七)。ともに大戦と収容所をめぐり抜け、二〇世紀というジェノサイドの時代にあって、語りえない出来事を語る証言者としての使命を

精神分析臨床の現在地

藤山直樹・松木邦裕・細澤仁 《精神分析を語る》

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)



「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

「精神分析・臨床心理学」(四六判・248頁・二七三〇円)

みすず書房新刊

(2013.1.11) 4 (価格は税込です)

野生のオーケストラが聴こえる サウンドスケープ生態学と音楽の起源 クラウス・サウンドスケープ生態学の成果が音楽の起源を浮彫りにする。自然の音風景の恩恵を再認識する書。伊達淳訳 三五七〇円

北一輝著作集(全3巻) オンデマンド版 二二六事件で処刑された思想家の全貌。国体論及び純正社会主義「支那革命外史」他論文書簡。①二二六〇〇円②一八九〇〇円

ニルンベルク裁判の通訳 ガイバ 通訳に主眼を置く唯一の研究。方法の議論。通訳者の履歴と人物。歴史的意義を精確に分析する。武田河代子訳 四四二〇円

基本図書限定復刊「6・10月」 本年は二回、各分野で基本文献とされる書も専門の枠を超えて長く読み継がれる基本書を選び、復刊いたしました。

サードプレイス「コミュニティの核になる」(むきり居心地よい場所) オルデンバーク 居酒屋 カフェ……家、職場に並ぶ「三つの居場所」の機能を社会学者が多角的に考察。忠平美幸訳 四四二〇円

イデーオン 全3巻5冊 フッサール 現代思想の原点。渡辺・立松他訳①一六七〇〇円②一七四〇〇円③一五〇四〇円④二六三〇〇円⑤四八三〇〇円

高校図書館 生徒がつくる。成田康子 ちよと自由で愉しい図書館を―司書と生徒たちが模索する現場からの熱いレポート。初めての高校図書館論。二五二〇円

社会学講義 習俗と法の物理学 デュルケム 近代社会II産業社会がいかに規範を確立するか。道徳、所有権、契約法の観点から論じる。宮島・川喜多訳 五四六〇円

歴史学の将来 ルカーチ この専門分野の栄枯盛衰。歴史と小説との比較など、真摯で快活な学問のすゝめ。村井章子訳 近藤和彦監修 三三六〇円

死を前にした人間 アリエス 死と葬儀をめぐる根深い感情の変遷を、豊富な史料で解明する(死の心性史)。中世から現代まで。成瀬駒男訳 八八二〇円

書物復権 2013「5月」 第17回を迎えた「書物復権」9社共同復刊におきまして、皆様からのリクエストにより、次の書籍を復刊いたしました。

近代史における国家理性の理念 マーティン 第二次世界大戦後のドイツで刊行。国家行動への批判という問題意識に支えられた歴史分析。菊盛・生松訳 七五六〇円

政治論集(全3巻) ヴェーバー 政治への熱い関心と徹底的分析。教授就任講演から第2次世界大戦後までの論集。中村貞一他訳①五二五〇円②五六七〇円③五二五〇円

国家とは何か 政治理論序説 ダントレウ「実力」権力「権威」三つの視角で、ギリシアから現代へといたる国家観を鋭く考察する。石上良平訳 六〇九〇円

マティス 画家のノート マティス デッサンと色彩、色の役割と様相。浮世絵の影響など、至福の画家の全作業をまとめた読む美術書。二見史郎訳 六三〇〇円

オンデマンド復刊「6月」 小社の創立当初の代表的出版物のひとつ「ロマン・ロン全集」から、「魅せられた魂」他一冊を復刊いたしました。

現代議会主義の精神的地位 シュミット ワイマール体制下、議会制民主主義を批判し独裁理論を考察。ドイツの新政体を模索。「新装版」稲葉素之訳 二九四〇円

自分だけの部屋 ウルフ 経済的自立と精神的独立を主張し、女性の受難史を明らかにしたフェミニズム批評の聖典。「新装版」川本静子訳 二七三〇円

政治論集(全3巻) ヴェーバー 政治への熱い関心と徹底的分析。教授就任講演から第2次世界大戦後までの論集。中村貞一他訳①五二五〇円②五六七〇円③五二五〇円

国家とは何か 政治理論序説 ダントレウ「実力」権力「権威」三つの視角で、ギリシアから現代へといたる国家観を鋭く考察する。石上良平訳 六〇九〇円

マティス 画家のノート マティス デッサンと色彩、色の役割と様相。浮世絵の影響など、至福の画家の全作業をまとめた読む美術書。二見史郎訳 六三〇〇円

オンデマンド復刊「6月」 小社の創立当初の代表的出版物のひとつ「ロマン・ロン全集」から、「魅せられた魂」他一冊を復刊いたしました。

現代議会主義の精神的地位 シュミット ワイマール体制下、議会制民主主義を批判し独裁理論を考察。ドイツの新政体を模索。「新装版」稲葉素之訳 二九四〇円

自分だけの部屋 ウルフ 経済的自立と精神的独立を主張し、女性の受難史を明らかにしたフェミニズム批評の聖典。「新装版」川本静子訳 二七三〇円

国際的に活躍するジャズ・トランペッターと超売れっ子デザイナーの対談。人を感動させる極意とは。ノリとリズムと波のつかまえ方——音楽とデザインが融合した感性の領域を語り、トップランナーの稀なる境地に達した言葉が飛び出してくる。

二十歳のとき、プロのジャズ・ミュージシャンになろうと決心した近藤は、どうしたら最短時間で黒人の演奏に近づけるかを考えた。それで取り入れたのが真言密教「身口意(しんくい)」の修行、すなわち身体と口と意識のトレーニングだった。日本仏教はめっちゃくちゃファンキー！日本文化にひそむ方法は世界最高水準を行く。

佐藤は言う。世の中、「わかりやすさ」信仰が蔓延している。わからないから魅力的なものである。わからないことがいかに大切か、みんなわかっている。そこに気づくとき、デザインが生まれる。

映画を聴覚面から分析する

長門洋平 映画音響論 溝口健二映画を聴く

溝口は、小津、黒澤と並び日本映画の三大巨匠である。そして溝口映画こそが、日本映画の音楽・音響を考察する対象として最適なのである。

トニー黎明期の先駆的試み、新派や同時代前衛芸術との関わりなど、ジャンル、テクノロジー双方の広い範囲で創造性を発揮した溝口映画。その作品を分析することは、トニー初期から50年代黄金期に至る日本映画の音響創作の達成を考えることである。



溝口健二監督『浪華悲歌』(1936)主演の山田五十鈴

本書では、溝口映画における音響の効用を、映像および物語との関連から考察する。そして、映画を聴覚面から分析する理論枠組みを提示し、視聴覚文化、メディア研究ほか多方面の専門家が活用できる方法論として提供する。

作曲家本人による楽譜・手稿の分析と、録音技術・大谷巖氏(50年代大映作品を全て担当)へのロングインタビュー等により、音響創造を製作過程から分析していく。さらに、映画音響研究に関する質の高い文献を紹介し(未邦訳重要文献も)、それらの議論を整理・検討する。

『映画・音楽』(一月下旬刊) [A5判384頁・予六八二五円]

音楽とデザインの融合、トップランナーの稀なる境地

近藤等則・佐藤卓 《音色の革命》



記号化したデザインはつまらない。ジャズもロックも死んで久しい。二十一世紀の芸術は、音楽系とビジュアル系が融合して、「聴覚で見る・視覚で聴く」ようなフィールドが開けるのではないか。すなわち「音色の革命」——。ネット万能社会はみんな同じで気持ち悪い。コンピュータ一台あれば、ポンと押してジャスト。音楽に色味がなく、イラストレーションは誰が描いても「なんか全部同じ」。

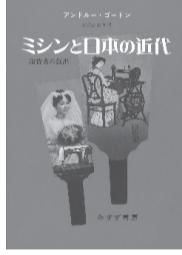
それよりも自然と日本文化のエッセンスをみつめよう。自分の無意識と対話しよう。ネゲブ砂漠、アンデス山脈、阿蘇山、阿寒湖など大自然と対面し最大音量で電気ラップを吹く近藤のプロジェクト《地球を吹く》は、宇宙にレコーディングする気分。佐藤はミカン山から流通社会を考える。

日々『創造』に取り組みむ人。『音楽・デザイン』(二月刊) [四六判240頁・予二九四〇円]

▽映画・映像文化をめぐって 稀代の映像・音響編集者とブック・賞作家が語るマイケル・オンダーチェ『映画もまた編集である』ウォルター・マーチとの対話 吉田俊太郎訳(四八三〇円)。ニューメディアの美学や構造は、映画にどれほど多くを負っているか。デジタル時代の視覚文化と芸術を論じるに欠かせないレフ・マンヴィッチ『ニューメディアの言語』堀潤之訳(本紙七面下広告)。「宙吊り」の魅惑を、表彰文化論の新鋭が論じ切る三浦哲哉『サスペンス映画史』(三五七〇円)。小津「陣中日記」全文を収め、小津の戦争体験とは何だったかを問う田中真澄『小津安二郎と戦争』(二九四〇円)。いずれも独自の角度から斬り込む刺激的論考揃い。

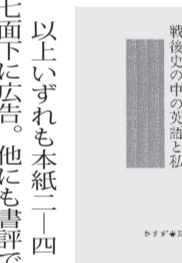
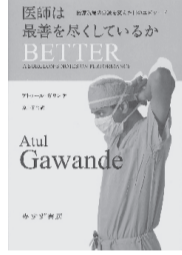
書評にとりあげられました

アンドルー・ゴードン『シンと日本の近代』(大島かおり訳)は、本紙6月の号でも吉見俊哉氏のエッセイ「シンから日本近代のダイナミズムが見える」をお寄せいただき大きくご紹介。渡辺靖朝日新聞8月18日、平松洋子(読売新聞9月1日、東京人11月号)、柏木博(日本経済新聞9月8日)、小泉和子(赤旗9月15日)、加藤陽子(毎日新聞10月27日)各氏をはじめ高評いただいています。



マクダ・オラン『四つの小さなパン切れ』(高橋啓訳)には、石田千(読売新聞6月23日)、堀江敏幸(ミセス7月号)、赤坂真理(朝日新聞7月21日)各氏ほか。小林照幸(日本経済新聞8月11日)、石井光太(図書新聞9月28日)、中西真人(日経サイエンス10月号)各氏ほか。

アトウル・ガワンデ『医師は最善を尽くしているか』(原井宏明訳)には、中村桂子(毎日新聞9月8日)、丸山敬(日経サイエンス11月号)、瀬名秀明(週刊朝日11月22日号)各氏ほか。



鳥飼玖美子『戦後史の中の英語と私』には、関正喜(北海道新聞5月5日)、菅啓次郎(読売新聞6月16日)各氏ほか。

ジャック・ペパン『エイズの起源』(山本太郎訳)には、紙六面でご紹介しています。

以上いずれも本紙二・四・七面下に広告。他にも書評で多数とりあげられた本を、本紙六面でご紹介しています。

みすず書房 近刊のお知らせ

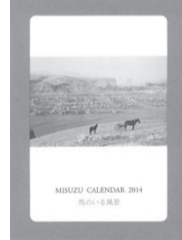
来年2-3月の刊行予定から

- 意味としての心——私的臨床語辞典 北山修 統合失調症の母と生きて ローラ・フリン 佐々木千恵訳 森川すいめい解説
- シネマティック・フロンティア 川本 徹 アーレント=ブリュッヒャー往復書簡 大島かおり・初見基訳
- 人生複線の思想 外山滋比古 沈黙の世界「始まりの本」ピカート 佐野利勝訳
- ノイズ/音楽 史的考察 ポール・ヘガーティ 若尾 裕訳
- ハイチ——震災と貧困からの復興 ポール・ファーマー 岩田健太郎訳
- 世界の見方の転換 [全3巻] 山本義隆 丸山眞男語文集・続 [全3巻] 丸山眞男手帖の会編
- 英語化する世界と世界化する英語 ヘンリー・ヒッチングス 田中京子訳 (http://www.msz.co.jp にもご案内)

みすず書房・最近の重版より

- イエルサレムのアイヒマン H. アーレント 大久保和郎訳 ¥3990
- 全体主義の起原 1——反ユダヤ主義 H. アーレント 大久保和郎訳 ¥4725
- 全体主義の起原 2——帝国主義 H. アーレント 大島通義・大島かおり訳 ¥5040
- スピノザの方法 國分功一郎 ¥5670
- 徴候・記憶・外傷 中井久夫 ¥3990
- 医師は最善を尽くしているか A. ガワンデ 原井宏明訳 ¥3360
- モンテーニュ エッセイ抄《大人の本棚》 宮下志朗訳 ¥2625
- ヒトラーを支持したドイツ国民 R. ジェラテリー 根岸隆夫訳 ¥5460
- ピダハン——「言語本能」を超える文化と世界観 D. L. エヴェレット 屋代通子訳 ¥3570
- 福島原発事故をめぐって 山本義隆 ¥1050

みすず書房 営業部だより



文化功労者のお一人に、中井久夫先生が選ばれました。中井先生は精神科の医師ですが、評論や翻訳の業績が高く評価されての選出です。小社からも多くの作品を出版されていますが、今年1月に『サリヴァン、アメリカの精神科医』、5月に『昭和を送る』、8月に『統合失調症の有為転変』と立て続けの刊行でした。『昭和を送る』は、「中井久夫の天皇論」として発表されたものの、後に封印されたエッセイが収録され、「や」と読むことができる」という声が多くの方々から寄せられました。著者の真骨頂というべき名文を収める一冊を、味読いただければ幸いです。大反響の映画「ハンナ・アーレント」と「イエルサレムのアイヒマン」を本紙四面でご紹介しましたが、小社は「全体主義の起原」をはじめ『ラリエル・ファルン・ハーゲン』、過去と未来の間、今秋刊行されたユダヤ論集全2巻『反ユダヤ主義』『アイヒマン論争』他アーレントの著書、関連書を継続して出版しています。

みすず美術カレンダー 2014 本紙9月の号でもご案内いたしましたように、来年版は特集「馬のいる風景」です。干支にちなんで、古今東西の絵画、写真、民芸品の中に描かれた馬を集めました。来年こそは跳躍、よい一年になりますように、という想いも込めています。ハガキ大で卓上用(ペーパーケース入)ご希望の方は一部六〇〇円に

送料八〇円、計六八〇円分の切手をご同封のうえ、みすず書房営業部(〒113-0033文京区本郷5-32-21)までどうぞお早めにお申し込み下さい。 図書目録 2014年版出来

毎年この時期に作成している小社の総合図書目録ができあがりしました。ロングセラーはもちろん、新シリーズ、オランダ版に加え、最近の復刊書に僅少本、本年十一月までに刊行した最新刊まで、ただいま在庫のある一〇〇〇点余をジャンル別にご紹介しています。ご活用いただければ幸いです。本紙添付のハガキにてぜひご請求下さい。